

温和な人は強い人

「主の奴隸は争う必要はありません。必要なのは、誰にでも穏やかに接すること[です]」。

テモテ第二 2:24

120 番の歌 キリストの温和さに倣う

何を学ぶか*この記事では、相手の言葉や行動によって気持ちが乱されそうになる時に、自分の信じていることについて穏やかに話すにはどうしたらよいかを考えます。

1. 職場や学校でどんなことを尋ねられるかもしれませんか。

自分の信じていることについて、同僚や学校の友達に尋ねられたらどう感じますか。緊張しますか。そう感じる人はたくさんいます。でもこうしたことがきっかけで、相手がどんなことを考えているかを知り、良い知らせを伝えることができるかもしれません。攻撃的な態度で質問されることもあるかもしれません、驚くことではありません。間違った情報を聞いて誤解している場合も多いからです。（使徒 28:22でも、あなたの考えをあなたから聞くのがいいと思います。この一派については、各地で反対に遭っていることを知っているからです）さらに、今は「終わりの時代」なので、「全く人に同意しようと」しない人もいれば、「乱暴」な人さえいます。（テモニ 3:1このことを知っておきなさい。終わりの時代は困難で危機的な時になります、3自然な愛情を持たず、全く人に同意しようとせず、中傷し、自制心がなく、乱暴で、善いことを愛しません）

2. 温和な人になることが私たちのためになるはどうしてですか。

2 「自分が信じていることについて攻撃的な態度で質問されたら、どうすれば上手に答えられるだろうか」と思うかもしれません。温和な人になることは役立ちます。温和な人はすぐに怒らず、気分を害されたり思いも寄らないことが生じたりしても自分をコントロールできます。（格 16:32すぐに怒らない人は力の強い人に勝り、怒りを抑える人は町を征服する人に勝る）でも、「言うのは簡単だけど、実際にそうするのは難しい」と思うかもしれません。①どうすればもっと温和な人になれますか。②攻撃的な相手にも自分が信じていることをどうすれば穏やかに説明できますか。③親の皆さん、この点でどのように子供を助けられるでしょうか。考えてみましょう。

温和な人になるには

3. 温和な人が強い人だと言えるのはどうしてですか。（テモテ第二 2:24, 25）

3 温和な人は決して弱いわけではありません。強い心を持っていて、問題にぶつかっても穏やかでいることができます。温和は「聖なる力が生み出すもの」です。（ガラ 5:22, 23一方、聖なる力(*)が生み出すもの(d*実)は、愛、喜び、平和、辛抱強さ、親切、善良、信仰、23 温和、自制です。このようなもの

を否定する律法はありません） 「温和」と訳されるギリシャ語は、飼いならされた野生の馬を指して使われることもあります。そのような馬を想像してみてください。おとなしくなったものの、弱くなつたわけではありません。私たちも、温和で強い人になることができます。でも、自分の力でそうなることはできません。聖なる力を求めて祈り、温和な人になれるように助けてください、とお願いすることが大切です。実際、エホバの助けによって、多くの兄弟姉妹が厳しい意見にも穏やかに応じてきました。その結果、エホバの証人に良い印象を持つようになった人もいます。（テモテ第二 2:24, 25 主の奴隸は争う必要はありません。必要なのは、誰にでも穏やかに(*巧みに)接すること、教える資格があること、不当な扱いを受けても自分を抑えること、25 好意的でない人たちを温和な態度で教えることです。もしかしたら神は、その人たちが悔い改めて(*考え方を変えて)真理の正確な知識を得られるようにされるかもしれませんを読む。）では、温和で強い人になるためにどんなことができるでしょうか。

4. イサクの例から、温和であることの大切さについてどんなことを学べますか。

4 聖書には、温和であることの大切さについて学べる記述がたくさんあります。イサクの例を考えてみましょう。フィリスティア人の領地であるゲラルに住んでいた時、アブラハムの召し使いたちが掘った井戸を、ねたみに駆られた人々にふさがれてしまいました。イサクは自分の権利を守るために戦うのではなく、家族と一緒に遠い場所へ移動し、別の井戸を掘ることにしました。（創 26:12-18 イサクはその土地で種をまいた。その年の収穫は、まいた物の百倍にもなった。エホバが祝福したからだった。13 イサクは裕福になり、その後も成功していき、非常に裕福になった。14 幾つもの羊の群れと牛の群れを持ち、大勢の召し使いたちを抱えるようになったのである。それでフィリスティア人は彼をねたむようになった。15 フィリスティア人は、父アブラハムの時代に召し使いたちが掘った井戸全てに土を詰め、ふさいだ。16 アビメレクはイサクに言った。「あなたは私たちよりはるかに強くなりました。私たちの所から出ていってください」。17 それでイサクはそこから移動し、ゲラルの谷(*ワジ)に宿営を張って住んだ。18 イサクは、父アブラハムの時代に掘られ、アブラハムの死後フィリスティア人にふさがれた井戸を掘り直した。そして、それぞれの井戸を、父が付けた名前で呼んだ）でも、フィリスティア人はその水も自分たちのものだと主張しました。このようにひどい扱いを受けても、イサクは平和を求めて行動しました。（創 26:19-25 イサクの召し使いたちが谷(*ワジ)で井戸を掘ると、きれいな水が出てきた。20 するとゲラルの羊飼いたちが、「その水はわれわれのものだ」と言って、イサクの羊飼いたちと言い争いを始めた。その井戸はエセク(m*争い)と名付けられた。言い争いがあつたからだった。21 別の井戸を掘ると、それを巡ってまたも言い争いが起きた。その井戸はシトナ(m*訴え)と名付けられた。22 その後イサクはそこから移動して別の井戸を掘った。今度は言い争いが起きなかった。その井戸はレボボト(m*広い場所)と名付けられた。イサクが言うには、「エホバが広い場所を与える、ここで子孫を増やせるようにしてくださったから」だった。23 やがてイサクはそこからベエル・シェバに行った。24 その夜、エホバがイサクに現れて、こう言った。「私はあなたの父アブラハムの神である。恐れてはいけない。私はあなたと共にいるからだ。私に仕えたアブラハムのゆえに、あなたを祝福し、あなたの子孫を多くする」。25 それでイサクはそこに祭壇を作つてエホバの名を呼んだ(*賛美した)。イサクはそこに天幕を張り、召し使いたちは井戸を掘った）相手が悪意を持っているように思える時でも、イサクが穏やかでいられたのはどうしてでしょうか。いつも平和を大切にしていたアブラハムや、「物静かで温和な精神」を持っていたサラの様子をよく見て、たくさんのこと学んでいたに違いありません。（ペテー 3:4-6 自分の内面(*内面の人つまり心)を飾りとしましよう。物静かで温和な精神という朽ちない飾りです。それは神から見てとても価値があります。5 希望を抱いて神を待っていた昔の聖なる女性たちは、まさにそのようにして自分を飾り、夫に従いました。6 例えば、サラは

アブラハムを主人と呼んで従っていました。皆さんも善を行い続け、恐れに屈しないなら、サラに倣えます(d*彼女の子供です)。創 21:22-34 その頃、アビメレクと軍隊の長フィコルがアブラハムに言った。「あなたが何をする時も、神はあなたと共にいます。23 ですから今ここで、私と私の子孫を裏切ったりしないと、神に懸けて誓ってください。そして、私があなたに親切にし(*揺るぎない愛を示した)ように、あなたも、私と、あなたが住んできた土地の人々に親切にすることを誓ってください」。24 それでアブラハムは、「誓います」と言った。25 アブラハムは、アビメレクの家来たちに井戸を強引に奪われたことで、アビメレクに苦情を述べた。26 アビメレクはこう答えた。「そんなことをした者がいるとは知りませんでした。あなたは私に話してくれませんでしたし、私も今まで何も聞いていませんでした」。27 そこでアブラハムは羊と牛を連れてきてアビメレクに与え、2人は契約を結んだ。28 アブラハムが群れの中から雌の子羊7匹を取り分けると、29 アビメレクはアブラハムに言った。「7匹の雌の子羊を取り分けたのはどうしてですか」。30 アブラハムは言った。「私がこの井戸を掘った証拠として、あなたは私からこの7匹の雌の子羊を受け取るのです」。31 それで、その場所はベエル・シェバ(mif*誓いの井戸/7の井戸)と呼ばれた。2人がそこで誓いを立てたからだった。32 こうして彼らはベエル・シェバで契約を結んだ。アビメレクは軍隊の長フィコル※と共に、フィリスティア人の土地に帰っていった。33 その後、アブラハムはベエル・シェバにギヨリュウの木を植え、そこで永遠の神エホバの名を呼んだ(*賛美した)。34 そしてアブラハムはフィリスティア人の土地に長い間とどまつた(*外国人として住んだ) (※フィリスティア人のアビメレク王の軍の長。アビメレクもフィコルも称号名かも。)

5. クリスチャンの親は、温和であることの大切さをどのように子供に教えられますか。

5 親の皆さんも、子供に温和であることの大切さを教えることができます。17歳のマクサンスは、学校や伝道で怒りっぽい人に会うことがよくありました。両親は、マクサンスが温和な人になれるよう辛抱強く助けました。こう言っています。「挑発された時に怒りや暴力に訴える人よりも自分を抑えられる人の方が強い、ということを息子が理解できるように教えました」。こうしてマクサンスは温和な人になることができました。

6. もっと温和な人になるために、どのように祈ることができますか。

6 誰かからエホバや聖書のことを悪く言われる場合には、どうしたらいいでしょうか。聖なる力と穏やかに答えるための知恵を求めて、エホバに祈りましょう。もっと穏やかに接するべきだったと後になって気付く場合はどうですか。そのことについても祈り、次に同じようなことがあつたときにどうしたらよいかを考えましょう。そうするなら、エホバの聖なる力によって感情をコントロールし、穏やかに接することができるでしょう。

7. 聖句を覚えておくなら、難しい状況に直面した時にどのように役立ちますか。 (格言 15:1, 18)

7 聖書の中には、難しい状況でも穏やかに話す上で役立つ聖句がたくさんあります。聖なる力は、こうした聖句を思い出せるように助けてくれます。(ヨハ 14:26 しかし、父が私の名によって遣わす援助者つまり聖なる力が、あなたたちに、全てのことを教えるとともに、私が話した全てのことを思い起こさせます) 例えば、「格言の書」には、穏やかでいるのに役立つ言葉が載せられています。(格言 15:1 穏やかな(*温和な)答えは激しい怒りを静め、きつい(*とげのある)言葉は怒りをあおる, 18 すぐかっとなる人は争いを引き起こし、すぐに怒らない人は言い争いを鎮めるを読む。) また、張り詰めた空気になったときでも自分を制するならどんな良い結果になるかについて教えています。(格 10:19 言葉が多ければ失敗(d*違反)

を避けられない。言葉を慎む人は思慮深い; 17:27 知識のある人は言葉を控え、識別力のある人は冷静さ(d*気の冷たさ)を保つ; 21:23 自分の口と舌を見張っている人は、面倒なことから身を守っている; 25:15 辛抱強さによって権力者は説得され、穏やかな言葉(*温和な舌)は強い反対を克服する(d*骨を碎く))

洞察力はどのように助けになるか

8. 相手が質問した理由を考えるとよいのはどうですか。

8 洞察力も役立ちます。 (格 19:11 洞察力があればすぐに怒ることはない。過ち(*違反)を見過ごす(d*通り過ぎる)人は美しい) 洞察力がある人は、自分が信じていることについて攻撃的な態度で聞かれた時も冷静さを失いません。相手の質問や態度は氷山の一角のようです。その背後にはいろいろなものが隠れていて、何を考えているのか、どうしてそう言ったのかは、すぐには分からないかもしれません。それで、答える前に少し考えましょう。相手がどうしてその話題を持ち出したのか、よく理解できていないかもしれませんからです(格 16:23 賢い人の心は口に洞察力を与え、話に説得力を加える)

9. ギデオンはどのように洞察力を働かせ、エフライムの人たちに穏やかに接しましたか。

9 ギデオンがエフライムの人たちにどう接したか考えてみましょう。エフライムの人たちは、ギデオンが戦いに出掛ける時に自分たちを呼んでくれなかったので、ひどく文句を言いました。このような反応を示したのはどうしてだったのでしょうか。プライドを傷つけられたからでしょうか。確かな理由は分かりませんが、ギデオンは相手の気持ちを大切にし、穏やかに答えました。その結果、「エフライムの人たちの気持ちちは治ま」りました。 (裁 8:1-3 エフライムの人たちはギデオンに言った。「一体どういうつもりだ。ミディアンと戦う時に、なぜわれわれを呼ばなかったんだ」。そしてひどく文句を言った。2 ギデオンは言った。「皆さんがしたことに比べれば私は大したことはしていません。エフライムのブドウの収穫の残りは、アビ・エゼルの収穫に勝っているではありませんか。3 神はミディアンの高官オレブとゼエブを皆さん的手に渡しました。皆さんがしたことに比べれば私は大したことはしていません」。ギデオンがこう話すと、エフライムの人たちの気持ちちは治まった)

10. エホバの証人が信じていることについて尋ねられた時には、どんなことを意識することが大切ですか。 (ペテロ第一 3:15)

10 同僚や学校の友達から、エホバの証人が聖書の基準に従って生活している理由を尋ねられるかもしれません。そういう時には、自分の信じていることについてぜひ話したいと思うことでしょう。でも、相手にも自分の意見があるということを認めて敬意を示しましょう。 (ペテロ第一 3:15 心の中で主キリストを神聖な方としてください。皆さんの抱く希望について説明を求める人にいつでも弁明できるよう、準備しておきましょう。語る時には、温和な態度と深い敬意を示しましょうを読む。) 質問されたことを攻撃や批判と見なすのではなく、相手がどんなことに関心があるかを知るチャンスと考えることは助けになります。相手がどんな理由で質問したかに関わりなく、穏やかで親切な仕方で接するように心掛けましょう。それは、相手が自分の見方について考え直す良い機会になるかもしれません。たとえ相手の話し方が失礼だったり、嫌味っぽかったりしても、いつでも親切に対応することは大切です。 (ロマ 12:17 悪いことをされても、決して仕返しをしてはなりません。どうすれば誰の目から見ても(*前でも)良いことを行えるかを考えてください)



誕生日パーティーに誘われたとき、どうして誘ってくれたのかをまず考えるなら、上手に答えることができる。（11-12節参照）

11-12. (ア) 難しい質問に答える前に、どんなことを考えるとよいですか。（写真も参照。）

(イ) 相手の立場に立って考えることは、どのように良い会話につながりますか。

11 同僚から、どうして誕生日を祝わないのかと尋ねられたなら、まずこう考えてみましょう。「この人は、エホバの証人は楽しい時間を過ごせないと思っているんだろうか。一緒に誕生日を祝わない人がいることで、チームの雰囲気が悪くなることを心配しているんだろうか」。そして同僚に、仲間への気遣いにどれほど感謝しているかや、チームで仲良く働きたいと思っていることを伝えられます。そうするなら、同僚の不安を和らげができるかもしれません。聖書が誕生日について何と述べているかを自然な形で話すきっかけにもなるかもしれません。

12 ほかの話題に関しても、同じようにすることができます。学校の友達から、同性愛に関するエホバの証人の考え方はおかしいと言われるかもしれません。そういうときには、こう考えてみましょう。「この人はエホバの証人についての間違った情報に影響されているんだろうか。友達や親族に同性愛者がいるんだろうか。エホバの証人は同性愛者を嫌っていると考えているんだろうか」。私たちがどんな人も大切に思っていることや、それぞれに自分の生き方を決める権利があると認めていることを知ってもらえるといいかかもしれません。*「目ざめよ！」2016 No. 4の「聖書は同性愛について何と述べているか」という記事にも役立つ情報（エホバの証人は、同性愛行為は避けますが、自分の見方を人に押し付けたりはせず、同性愛者を憎悪せず。その性的欲求を抑えることは可能）があります。（ペテ2:17 あらゆる人を敬い、信仰で結ばれた兄弟たち全員を愛し、神を畏れ、王を敬ってください）そして、聖書の道徳基準に従うならどんな良いことがあるかを伝えることもできます。

13. 神を信じていることについてばかにされたなら、どんなことができますか。

13 強い意見を持った人に会ったなら、どうしますか。相手の考えをすぐに決め付けてはいけません。（テト3:2 誰のことも悪く言わず、争いを好まず、分別を働くかせ、誰に対してもいつも温和に接することです）学校の友達から、神を信じているなんてばかげている、と言われたとします。そういうとき、相手は進化論を信じているからそう言っている、と考えますか。実際は、誰かから聞いたことをそのまま話しているだけなのかもしれません。科学について議論を始めるのではなく、友達が後で考えられるように、資料を渡したり質問したりできます。jw.orgの創造に関する資料を見てもらうこともできます。友達は後でそれを見て、記事や動画について話したいと思うかもしれません

ん。このように敬意を持って接するなら、相手は聖書の教えについてもっと知りたいと思うようになるかもしれません。

14. ニール兄弟はエホバの証人に対する同級生の誤解を解くために、どのように jw.org を活用しましたか。

14 10代のニール兄弟は、エホバの証人に対する誤解を解くために jw.org を活用しました。こう言っています。「あるクラスメートから、『聖書の作り話なんか信じているから、科学を否定しているんだろう』とよく言われました」。その同級生は説明に耳を貸そうとしなかったので、ニール兄弟は jw.org の「科学と聖書」のセクションを見てもらうことにしました。その後、同級生はサイトを見てくれたようで、生命の起源に関する話し合いができるようになりました。あなたも同じような経験ができるかもしれません。

家族で準備する

15. 親は、子供が学校で自分の信じていることを落ち着いて説明できるよう、どのように助けられますか。

15 親の皆さん、お子さんが自分の信じていることを落ち着いて説明できるように助けてください。
([ヤコ 3:13](#) 皆さんの中に知恵と理解力がある人はいますか。その人は、立派な振る舞いをし、自分が知恵によって温和に行動していることを示してください) 家族の崇拜の時に、子供と一緒に練習している親もいます。学校で尋ねられそうな話題を選び、どのように答えられるかを話し合って、実際にやってみましょう。どうすれば穏やかに分かりやすく話せるかも教えることができます。 (「家族で練習してみましょう」の囲みも参照。)



家族で練習してみましょう

多くの家族は、学校や職場で話題になりそうな点を家族の崇拜で話し合うとよいと感じています。
([格 9:9](#) 賢い人に伝えよ。その人はさらに賢くなる。正しい人を教えよ。その人はさらに知識を得る) 次のように言われたらどう答えられるか、考えてみましょう。* jw.org の「若い人は尋ねる」や「エホバの証人についてのよくある質問」のシリーズ記事からも、役立つ情報を見つけられます。

- ・「神を信じるのは教養のない人だけだ」。
- ・「生命は進化によって存在するようになったんでしょ？」
- ・「神が全ての物を造ったんだとしたら、神を造ったのは誰なの？」
- ・「エホバの証人は同性愛者を嫌っているよね」。
- ・「エホバの証人が宗教を変えるように圧力をかけるのは良くないと思う
- ・「あなたたちは都合のいいように聖書を解釈している」。



16-17. 練習するとよいのはどうしてですか。

16 練習するなら、説得力のある話しができるだけでなく、自分自身の確信を強めることができます。jw.orgには「若い人は尋ねる」のシリーズや「若い人のためのワークシート」(右上)があります。こうした資料は、若い人が自分の確信を強め、自分の言葉で答える準備をする助けになります。家族みんなで学ぶなら、それが自分の信じていることを穏やかにそして上手に話せるようになるでしょう。

17 マシューという若い兄弟は、練習が助けになったと感じています。家族の崇拝で、兄弟は親と一緒に、学校で話題になりそうな点について調べています。こう言っています。「どんな質問をされるかを考え、調べたことに基づいてどのように話せるかを練習します。自分が信じていることの理由がはっきりしているなら、自信を持つことができ、穏やかに話しやすくなります」。

18. コロサイ 4章6節からどんな大切なことを学べますか。

18 たとえ分かりやすくて説得力のある説明をしたとしても、みんなが考えを受け入れくれるとは限りません。でも、温和で親切な話しがすることは助けになります。(コロサイ 4:6 塩で味付けされた快い言葉を語るように心掛けましょう。そうすれば、誰に対してもどのように答えるべきかが分かりますを読む。) 自分の信じていることを誰かに伝えることは、ボールを投げることに似ています。優しく投げることもできれば、力いっぱい投げ付けることもできます。優しく投げるなら、相手はそれを受け取りやすくなるので、キャッチボールは続いていきます。同じように、温和な態度でよく言葉を選んで話すなら、相手はもっと聞きたいと思い、会話が続いていくかもしれません。もちろん、ただ議論したり批判したりしようとしている人とは、話し合いを続ける必要はありません。(格 26:4 愚かな人にその愚かさに合わせて答えるな。その人と同じレベルにならないためである) でも、そのような人と出会うのはまれなことで、多くの人は聞いてくれるでしょう。

19. どんなことを考えると、温和な人になりたいという気持ちは強まりますか。

19 温和な人であることを目指すなら、多くの良い結果につながります。議論になりそうな質問に答えるときや理不尽なことを言われたときには、温和でいられるよう、エホバに力を祈りましょう。あなたが温和であるなら、意見の違いがあったとしても、それが言い争いに発展してしまうのを避けられます。私たちの温和で敬意のこもった話しが聞いた人たちは、エホバの証人や聖書に対する見方を変えるかもしれません。それで、自分の信じていることについて「いつでも弁明できるよう」にしておき、「語る時には、温和な態度と深い敬意を示しましょう」。(ペ

テー 3:15 心の中で主キリストを神聖な方としてください。皆さんのおく希望について説明を求める人にいつでも弁明できるよう、準備しておきましょう。語る時には、**温和な態度と深い敬意を示しましょう**） そうするなら、あなたも**温和で強い人**になることができます。

どのように答えますか

1. どうすれば温和な人になりますか。

- ・S03 私たちも、**温和で強い人**になることができる。でも、**自分の力**でそうなることはできない。聖なる力を求めて祈り、温和な人になれるように助けてください、とお願いすることが大切
- ・S04 **聖書の記述**から、**温和であることの大切さ**について学ぶ。繁栄をねたんだフィリステア人から何度も井戸をふさがれても、平和を求めて行動したイサクの模範から学べる
- ・S05 親の皆さんも、**子供に温和であることの大切さ**を教える
- ・S06 **エホバや聖書**のことを悪く言われる場合には、**聖なる力と穏やかに答えるための知恵**を求めて、エホバに祈る。もっと穏やかに接すべきだったと後になって気付く場合もそのことについても祈り、次に同じようなことがあったときにどうしたらよいかを考える
- ・S07 **聖なる力**は、難しい状況でも**穏やかに話す上で役立つ聖句**を思い出せるよう助けてくれる

2. 温和な態度で話すのに、洞察力はどのように助けになりますか。

- ・S08 洞察力がある人は、自分が信じていることについて**攻撃的な態度**で聞かれた時も、相手の質問や態度が冰山の一角のようで、**相手が何を考えてどうしてそう言ったのか**、**すぐには分からない**ことがあることを理解しているので、**冷静さを失わない**
- ・S10 エホバの証人が聖書の基準に従って生活している理由を尋ねられる時には、自分の信じていることについてぜひ話したいと思うかもしれないが、**相手にも自分の意見がある**ということを認めて**敬意を示す**。質問されたことを**攻撃や批判**と見なすのではなく、相手が**どんなこと**に関心があるかを知るチャンスと考える。いつでも、**穏やかで親切な仕方**で接するように心掛ける
- ・S11 **どうして誕生日を祝わないのか**と尋ねられたなら、まず相手が**どうして誕生日パーティーに誘ってくれたり、そう質問したか**を考え、そして同僚に、**仲間への気遣いにどれほど感謝**しているかや、**チームで仲良く働きたい**と思っていることを伝えられる
- ・S12 学校の友達から、**同性愛**に関するエホバの証人の考え方は**おかしい**と言われる時、その友達への**間違った情報**からの影響や、友達の**同性愛者**への気遣いを考慮し、私たちが、**どんな人も大切に思っていること**や、**人それぞれに自分の生き方を決める権利がある**ということを認めていることを知ってもらう
- ・S13 **強い意見**を持った人に会っても、**相手の考え**をすぐに決め付けない。議論を始めるのではなく、友達が後で考えられるように、**資料を渡したり質問したりして、敬意を持って接する**

3. 親は、子供が自分の信じていることを落ち着いて説明できるよう、どのように助けられるか

- ・S15 **親**は、**子供が自分の信じていることを落ち着いて説明できるよう** **家族の崇拜**の時に、**子供と一緒に練習**できる。学校で尋ねられそうな話題を選び、**どのように答えられるか**を話し合って、**実際にやってみる**。どうすれば**穏やかに分かりやすく話せるかも**教える
- ・S16 **練習**するなら、**説得力のある話し方**ができるだけでなく、**自分自身の確信**を強められる。jw.org には「若い人は尋ねる」のシリーズや「若い人のためのワークシート」などの資料は、**若い人が自分の確信を強め、自分の言葉で答える準備**をする助けになる